

LED防除器利用による花きの難防除害虫対策

野菜花き試験場

カーネションなど花き類の難防除害虫であるオオタバコガは、黄色光を用いて防除できることが知られています。本県では特定の波長域を発光できるLED（発光ダイオード）を利用した、省エネで使い易い防除器（商品名レピガード®）を民間と共同開発しました。カーネションだけでなく、キク等でも利用でき、普及が進んでいます。

1 花き類の難防除害虫オオタバコガ

オオタバコガは産卵数が多く、1つの蕾に1つずつ産みつけます。ふ化した幼虫は蕾内に食入します。



2 黄色光による防除の原理

オオタバコガ等のヤカ類は、夜間に活動します。そこで、圃場を明るくしてヤカ類に昼間と錯覚させ、産卵活動などを抑制する防除方法です。慣行防除とLED防除を組み合わせることにより高い防除効果が得られます（図1）。

3 LED防除器（レピガード®）の特徴

活動抑制効果の高い波長を選択して発光するため、作物や周辺環境への影響を少なくできます。

黄色蛍光灯に比べて消費電力が少なく（約8分の1）、寿命が長く（約10倍）、小型軽量で設置や移動が誰でも容易に行えます。

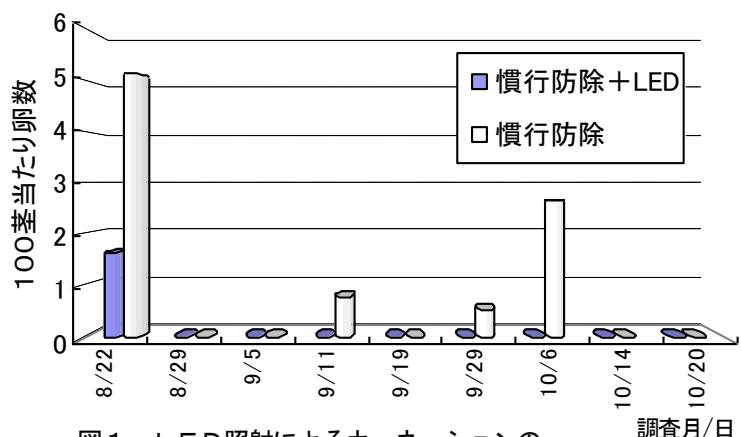


図1 LED照射によるカーネションのオオタバコガに対する産卵抑制効果（平成20年）